



「患者サービス向上委員会」の取組としてセタコンサートを開催しました

Topics

- 診療科紹介 泌尿器科
- サポート高松トライアスロンに医療救護担当として参加しました
- 令和6年度「ふれあい看護体験」を開催しました
- 地域医療連携カンファレンス 開催報告
- カンボジア医療従事者の研修を受け入れました

診療科紹介 泌尿器科

診療内容

当院泌尿器科では、次のような幅広い疾患に対して治療を行っています。

- ・ 尿路性器悪性腫瘍（前立腺癌、腎癌、膀胱癌など）
- ・ 前立腺肥大症
- ・ 過活動膀胱
- ・ 尿失禁
- ・ 尿路性器感染症
- ・ 尿路結石症
- ・ 腎機能障害
- ・ 透析関連疾患



特に最近では低侵襲手術に力を入れており、2021年4月には手術支援ロボットを導入しました。また、前立腺肥大症や尿路結石に対するレーザー手術も積極的に行っています。泌尿器疾患は高齢者に多く、合併症のリスクも高いため、他科とも連携を取りながら一人一人の患者さんに合わせた丁寧な治療を心がけています。

診療体制

泌尿器科は現在、常勤医師4名（うち3名が泌尿器科指導医・透析指導医）の体制で診療を行っています。外来診療は以下の通りです。

- ・ 月～金の午前中（月曜日のみ午後2～4時も対応：予約制）
- ・ 再診は予約制
- ・ 尿流動態検査は月曜日の午後実施

急ぎの診療が必要な場合は、当日の新患紹介にも可能な限り対応いたしますので、泌尿器科外来までお気軽にご連絡ください。



手術について

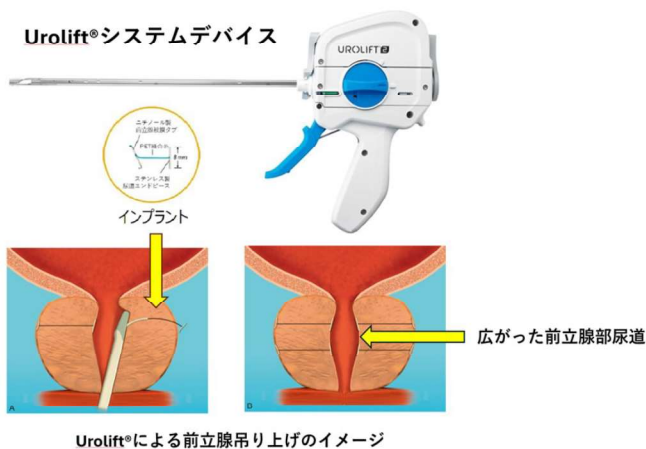
当院では、3名の医師が手術支援ロボット da Vinci Xi certificateを取得しており、その内2名が尿器ロボット支援手術プロクター認定を得ていますので、最新の泌尿器ロボット手術が行える体制となっています。これにより、前立腺癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、副腎腫瘍などに対する高度なロボット支援手術が可能となっております。

手術支援ロボット da Vinci Xi® サージカルシステム



また、前立腺肥大症に対するHoLEP（経尿道的前立腺レーザー核出術）やUrolift®（前立腺吊り上げ術）、軟性尿管鏡を用いたレーザー碎石術（fTUL）や細径腎盂鏡を用いた経皮的腎結石碎石術（miniPNL）を併用するECIRSなど、最新の低侵襲治療も積極的に導入しています。

Urolift®システムデバイス



膀胱癌に対しては、光力学診断を用いたPDD-TURBT（光力学診断を用いた経尿道的膀胱腫瘍切除術）を施行しており、これにより腫瘍の早期発見と質の高い治療が可能となっております。

透析施設の患者さんのシャントトラブルについても、即日対応できる体制を整えており、急なトラブルにも迅速に対応することができます。

ご相談の際は

排尿障害、尿潜血陽性、肉眼的血尿、尿路結石による痛み、PSA高値などでお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞお気軽に当科にご相談ください。患者さん一人一人の状態に合わせた最適な治療を提供できるよう、スタッフ一同、全力でサポートさせていただきます。また、地域の医療機関とも連携を図り、患者さんが安心して治療を受けられる環境を整えております。当院泌尿器科は、常に最新の医療技術と知識をもとに、患者さんに最適な治療を提供することを目指しています。今後とも、地域の皆さまの健康を守るために努力してまいりますので、何かご不明な点やご相談がございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。

（文責 森 英恭）

外来担当表

	月	火	水	木	金
午前 8~11時	小森 政嗣	大森 正志 (再診・再来予約のみ)	森 英恭	小森 政嗣	安宅 真利花
	森 英恭				
午後 13~16時	小森 政嗣	検査・手術			